

## 2013年度 第3回有機農業市民講座のご案内

### — 脱原発と新エネルギー・フリーエネルギーの光と影 —

日時 6月20日(木) 午後6:30

場所 NPO 法人 民間稲作研究所有機農業技術支援センター

話題提供者 浦里和明：谷田貝公平

原発や石油・石炭・天然ガスなどの地下資源を燃やして電力に変える時代は終わりにしなければ、地球が滅ぶとの思いで持続可能なエネルギーの確保と消費の在り方を考えてきました。

会場の有機農業技術支援センターは自然エネルギーを活用した研修・研究施設で、夏の冷房は地下に溜めた雨水を天井の裏板に散水し蒸散させることで部屋全体を涼しくしています。冬は北側軒下で作成する発酵肥料の熱とモミガラ燐炭製造時に発生する煤煙を2階ホールの暖炉で燃やし床暖房に活用する方法です。電力については「グリーン電力基金」(東京電力のCSR部門)の8割助成で4kwの太陽電池が設置されました。

そして2011, 3, 11、東電福島原発事故で杞憂は現実になりました。大量の放射能が飛散し、人々を故郷から追い出し、田畑を汚染し廃炉のための莫大な資金を使うこととなりました。原発を止め、持続可能なエネルギーへの転換が大きな流れになったにもかかわらず、強大な権力をもつ「原発利権集団」は「たいした事故ではない」として原発を輸出し、再開を目論むという動きになってきました。

私たちが考えてきたエネルギーの確保は電力にあまり依存しないこと、最低限必要な電力は再生エネルギーで自給することでした。有力な方法は小水力発電や木質系バイオ発電によって中山間地域の電力を自給し、地域経済の再建をめざすこと。第2には事業所や農場で取り組める廃食油を原料としたSVO方式によるチーゼル発電や太陽光発電などによって電力を自給する仕組みづくりでした。

なかでも太陽光発電は最も有力な方法として取り上げられ、各地でメガソーラーとして建設が進められています。しかしこうした動きにもろ手を挙げて賛成できない問題もあるといいます。

今回は、太陽光発電の開発に従事されていた浦里和明氏にその理由を語って頂きながら、私たちができるエネルギー自給の在り方を論議してみたいと思います。

また、谷田貝公平氏には身近な工夫の数々をご紹介頂き、小エネルギー生活の基本を提案していただく予定です。

## 2013年度 有機農業市民講座

### 「みんなでつくる有機農業」

話題提供 毎月第三木曜日の夜間、午後6:30からの市民講座です。有機稲作と原木しいたけ、キウイフルーツを栽培する有機農家館野廣幸氏をはじめ、全国적으로活躍のみなさまも加わり、話題提供をしながらみんなで有機農業を中心に明日の世界を展望してみようというフリーディスカッションの勉強会です。サラリーマン・学生・主婦など多彩な方々が参加します。是非ご参加ください。

- |      |                            |             |
|------|----------------------------|-------------|
| 第1回  | 有機農業と放射能汚染(3重苦を強いられた有機農業)  | 4月18日(木)    |
|      | 話題提供者 NPO法人 民間稲作研究所 稲葉光國   |             |
| 第2回  | 田中正造と脱原発のすすめ(見捨てられた被害者)    | 5月23日(木)    |
|      | 話題提供者 館野広幸(有機農家・埼玉大学非常勤講師) |             |
| 第3回  | 脱原発と新エネルギー・フリーエネルギーの光と影    | 6月20日(木)    |
|      | 話題提供者 浦里和明:谷田貝公平           |             |
| 第4回  | 地域の自然・文化再発見 そして保護活動の進め     | 7月18日(木)    |
|      | 話題提供者 上村康幸(上三川町議会議員) 川俣将世  |             |
| 第5回  | なぜできぬ木質バイオ発電 異論:口論         | 8月22日(木)    |
|      | 話題提供者 星野恵美子他               |             |
| 第6回  | 原発の現場から、原発の現場作業に従事して       | 9月19日(木)    |
|      | 話題提供者 安川(交渉中)              |             |
| 第7回  | 有機稲作の最前線(自然を活用する稲作文化の復権)   | 10月24日(木)   |
|      | 話題提供者 NPO法人 民間稲作研究所 稲葉光國   |             |
| 第8回  | 田んぼの土と多様な微生物の世界 覗いてみよう     | 11月21日(木)   |
|      | 話題提供者 横山(交渉中)              |             |
| 第9回  | 宮沢賢治(羅須地人協会のめざしたもの)        | 14年1月16日(木) |
|      | 話題提供者 館野宏幸                 |             |
| 第10回 | 近代科学技術の破綻と自然科学             | 14年3月20日(木) |
|      | 話題提供者 藤村靖之                 |             |

日時 2013年度・毎月第3木曜日 夜6:30~夜8:30

会場 NPO法人 民間稲作研究所 有機農業技術支援センター

TEL 0285-53-1133 メール masubuti@inasaku.or.tv

電車 電車の場合は宇都宮線「石橋駅」からタクシーで5分

駐車場 技術支援センター内 30台駐車可 参加費 1000円

主催 かみのかわ有機農業推進協議会 定員 30名(先着順)